

令和4年度 学校評価 柏原中学校パワーアッププラン

1 目標・方針

中期的な学校運営の 目標・方針	<p>【 学校教育目標 】 『心豊かにたくましく、自立して生きる生徒の育成』 ～ 学び合い、支え合い、鍛え合う柏中生 ～</p> <p>【 めざす生徒像 】 ① 学んだことを活かせる生徒 ② 自治的な集団づくりを通して成長する生徒 ③ 目標をもって努力する生徒</p>
本年度の重点目標	<p>① 基礎・基本の学力を定着させ、学んだことを活用する力を育てる</p> <p>② 自治活動を高め、人との関係づくりを通して自立する個を育てる</p> <p>③ 目標をもって生徒が取り組み、それを支援する環境を整える</p>

2 自己評価（達成状況 A:優れている B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善）

領域	観点	評価項目	達成状況	学校の取組状況と改善の方策
学校運営	学校経営	家庭・地域との連携の推進	B	<p>○ホームページの更新、学校だより、生活指導通信、学年・学級通信、学校安心安全メールを通して、学校での生徒の様子や行事の様子を伝え、家庭や地域への発信に努めた。</p> <p>○保護者アンケートで「学校からの通信やたより・HPで、学校の様子がよくわかる」の項目で肯定的な回答が87%であった。また、「学校での出来事についてよく話をするか」では、約80%の生徒と保護者が肯定的な回答をしている。そして、「子どもの悩みや問題について、学校は相談しやすいですか」にも80%の保護者が肯定的に回答している。今後はさらに、学校の配布物等が保護者に行き渡るよう生徒に呼びかけていきたい。</p> <p>○地域との連携について、コミュニティースクールの取組として地域参画を進め始めている。今後、さらに推進していきたい。</p>
		業務改善の推進	C	<p>○生徒と向き合う時間を増やし学校としての教育力の維持・向上と教職員一人一人の資質向上をめざして「働き方改革」を推進してきたが、課題の改善があまり見られなかった。</p> <p>○教職員の退勤時間の改善や会議の効率化については、否定的な回答が多く業務改善の推進は不十分である。しかし、1学期より2学期の方が肯定的な回答が増加している。今後はさらに業務の見直しとタイムマネージメントを進めていく。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対応の変更を受け、アフターコロナの取組を進めていきたい。教職員のワークライフバランスと生徒のスクールライフバランスを考慮しながら推進していきたい。</p>
	生徒指導	自立をめざした自治的活動の推進	B	<p>○学校教育目標である『心豊かにたくましく、自立して生きる生徒の育成』をめざし、生徒会や委員会等の自治的活動を積極的に推進してきた。</p> <p>○「学校は、自治的な集団づくりを通して成長する生徒の育成に努めている」では、全教職員が肯定的な回答をしており組織的な取組ができています。</p> <p>○自治活動（生徒会、委員会、学級活動）に積極的に取り組んでいると肯定的に回答する生徒の割合は87%（R3 74%）であった。今年度、肯定的な回答が増加したのは、新型コロナウイルス感染拡大防止による活動制限が減少してきたことが考えられる。また、全教職員が「学校は、生徒会活動など、自治的活動の活性化に努めている」に対して肯定的に回答している。</p> <p>○地域ボランティア活動にコミュニティースクールの取組と連携し、生徒会の呼びかけで活動することができた。アフターコロナを見据え、次年度以降も関係機関と連携しながら、生徒が主体的に参加できるボランティア活動に取り組むようにしていく。</p> <p>○「自分には良いところがあると思いますか(生徒)」で、70%の生徒が肯定的に回答している。コロナ禍ではあるが自己肯定感を育む取組となっていると考える。</p>
		組織的な生徒指導の推進	B	<p>○生活指導委員会や生徒支援委員会を中心に、情報交換や共通理解を図り、安心して学べる学校づくりに努めた。</p> <p>○「先生は、いじめ・暴力などの防止に積極的に対応し、安心して学べる学校づくりに努力していますか」に対して83%、「先生は、生徒の服装・身だしなみ・あいさつ・善悪の判断など、基本的な生活習慣や規則を守る習慣が身につくよう指導していますか」に対して、86%の生徒が肯定的な回答をしている。</p> <p>○「学校が楽しいですか」に対して81%の生徒が肯定的に回答しており、昨年度より6%増加している。しかし、「楽しくない」と回答した生徒が7%いるので、今後も、授業改善や一人ひとりを大切にする指導を充実させていく。</p> <p>○SNS等に関するトラブルが増加傾向にあり、スマホやタブレットの使用について不安に思っておられる家庭もある。来年度に向けた課題である。PTAとも連携しながらルールを守り活用できる取組を進める</p>

教育課程	学習指導	授業改善の推進	A	<p>○今年度、授業研修の研究テーマを「UDの継続から見えてくるもの～教員の持ち味を生かした授業の展開～」とした。昨年度までの研究テーマであるUD化を深化させ、各教員の持ち味を活かした授業改善を推進した。研究授業の事後研修では、参観した授業展開の自分の授業への取り入れ方やICT機器の活用方法についても協議した。</p> <p>○「あなたは授業内容がよく理解できますか(生徒)」と「おさんは学校の授業に意欲的に取り組んでいますか(保護者)」では、いずれも80%以上が肯定的な回答をした。また、生徒アンケートより、授業のはじめに「めあて」を提示(94%)し、最後に「振り返る活動」を行う(84%)ことが定着しつつある。</p> <p>○「教職員は研究テーマを共通理解し、その実践に努めている」では、88%の教職員が肯定的な回答をした。</p> <p>○授業の中で「学び合い」のためにベアトークやグルーブトーク、教え合い、小グループ学習などを取り入れている。また、タブレット等のICT機器を積極的に取り入れることが、授業内容の理解や学び合いの推進に役立っている。</p>
		家庭学習の習慣化の推進	C	<p>○学力向上具現化プランの目標で、「家庭学習を習慣化し1日平日2時間以上勉強している生徒を40%以上にすること」をめざした。しかし、2時間以上の生徒は22%と減少した。(昨年度28%) 教職員の「日ごろから家庭学習の内容や方法について指導を行っている」は、68%が肯定的な回答をしているが、来年度は100%をめざす。</p> <p>○生徒が自主的に家庭学習をしていると答えた保護者は約59%(R3 52%)である。出した宿題を忘れずにしている生徒は75%(R3 76%)であり、昨年度よりも1ポイント減った。今年度も家庭学習をいかに取り組ませるかという課題は残った。宿題に取り組むことはもちろんであるが、自ら学ぶ意義を理解できるように指導する必要がある。</p> <p>○家庭でのICT機器の使い方について、はじめをつけて活用している生徒は73%、保護者は50%であり、今年度も生徒と保護者の使用状況の認識に大きな差がみられる。ICT機器の利用時間が家庭学習の時間の確保の妨げになっているとも考えられる。</p>
課題教育	特別支援	個に応じた特別支援教育の推進	B	<p>○特別支援教育推進委員会を月に1回開催し、支援を要する生徒の情報交換と具体的な支援方法等を検討した。また、生徒の情報交換を職員会議で行い、全教職員で組織的に支援しながら一人ひとりの生徒に寄り添った指導を推進した。</p> <p>○「合理的配慮」に基づく個別的教育支援計画や個別の指導計画を作成し、計画的な支援を行った。また、将来の自立に向けて、3年間で計画的な進路指導を行うようにしている。</p> <p>○「学校全体として、特別支援に力を入れている」では、75%の教職員が肯定的な回答をしている。</p>

3 学校関係者評価

<p>○自己評価は概ね妥当である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携は概ね良好である。地域との連携の面では、コロナ禍後のさらなる推進を期待したい。 ・コミュニティスクールの取組の推進をさらに進めてほしい。 ・「働き方改革」推進に向けて、まだ課題が多いように思う。組織として課題を洗い出す必要があるのではないかな。 ・生徒が自治的活動に積極的に取り組むことができているのは評価できる。生徒の思いを反映させながら、地域で活動することで自主性を育む活動を後押ししてほしい。 ・あいさつ、服装、登下校状態などはよくできていると感じる。スマホやタブレットの利用について、指導の工夫が必要である。 ・ICT機器を活用し学び合う授業が定着しつつあると感じる。 ・家庭学習について、宿題と自ら取り組む学びの両方を推進してほしい。家庭でスマホやタブレット等を利用する時間を考えさせる指導も必要である。 ・一人ひとりに寄り添った適切な支援をさらに推進してほしい。
--

4 次年度の改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ○自立する生徒の育成のため、自己肯定感・自己有用感を高める支援を推進する ○生徒会活動をはじめ、生徒の自治的活動が活発になるよう指導を推進する ○コミュニティスクールの取組を推進することで、地域との連携を進める ○スマホやタブレット等の利用について、家庭と連携し日常生活で正しい活用方法が身につくよう指導する ○ICT機器の活用を推進しながら、基礎・基本の学力向上を図る ○「働き方改革」を推進し、教職員が生徒と向き合う十分な時間を確保する <p style="text-align: right;">令和 5年 3月 9日</p> <p style="text-align: right;">学校名 丹波市立柏原中学校 校長名 小林 宏明</p>
